



高島市長が

国保料値上げ を提案

高島市長は、福岡市の国民健康保険運営協議会に国保料の値上げを提案しました。市民からの3万2000を超える引下げ署名が提出されたばかりの時期に、市長のこのやり方は、まさに市民の声を踏みにじるものです。

3人世帯（うち介護分該当者2人）の国保料

給与収入	所得	国保料	前年度比
98万円	33万円	4万3900円	+1500円
125万円	60万円	11万1100円	+4200円
200万円	122万円	24万2200円	+9700円
300万円	192万円	36万9600円	+1万5000円
400万円	266万円	47万3400円	+1万9600円
700万円	510万円	81万0300円	+2万9600円

国保料は医療分+支援分+介護分の年間分

この一部
を使えば

国保会計は21億円の

“黒字”

引き下げできるのに、なぜ値上げ!?



市長は、国民健康保険料の負担を軽くするために使ってきた予算を、新年度に6億円けずるために、このようなひどい値上げを打ち出しました。ところが、他方で国保会計は21億円の“黒字”となり、市長はそれを基金として“貯金”しようとしています。この黒字分の一部を活用すれば値上げをせず、引下げに踏み出すことは十分可能です。それすら考えないのは、ただの“市民いじめ”です。

値上げストップ、引下げへ 署名積み上げを!

日本共産党 福岡市議団

国保運営協議会での議論を受けて答申が出され、その答申にもとづいて3月議会に予算案がかけられます。値上げを許さず、引下げ

をかちとるために声をあげ、引下げ署名をさらに積み上げていきましょう。